

上海における都市封鎖による物流への影響

中国最大の経済都市である上海市では新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりし、上海市政府は3月28日から事実上、2段階の都市封鎖(ロックダウン)を開始しました。本号では、物流への影響をお伝えします。

1. 上海の港湾、空港を取り巻く状況

- 上海市では新型コロナウイルスの感染急拡大を受け、3月28日から市内全域での一斉PCR検査を開始しています。検査期間は、市東部は28日から4月1日午前5時まで、市西部は4月1日午前3時から5日午前3時までで、期間中は市民の外出が制限される他、市西部は28日～4月1日も重点地域で封鎖措置を取り、事実上大規模な都市封鎖を実施します。
- 期間中、港湾関係者や医療従事者、警察などソーシャルワーカーは作業パスを提示することで移動が可能となっています。政府は当該期間中も、浦東国際空港・虹橋国際空港の運営と、鉄道、国際旅客・貨物の輸送は平常通り行うとしています。
- 浦東国際空港では、作業員の出勤制限や国際貨物便の欠航が相次ぐなど、影響がみられました。
- 上海港は閉鎖されることはなく、作業員が港内で待機することで都市封鎖の影響を回避し、税関においても業務が継続されコンテナ搬入も可能となる予定です。ターミナルへの立入りにはトラック運転手の48時間以内のPCR検査陰性証明を提示する必要があります。目立った混乱や影響は現状において確認されていませんが、今後の動向が注目されます。

2. 物流への影響

- 深圳等これまでの都市封鎖でも発生したように、たとえ港湾が閉鎖されず、工場も操業できたとしても、物流が滞ると、サプライチェーンに大きな影響を及ぼすことが見込まれます。
- 都市封鎖が開始された3月28日以降、現時点では、上海港での目立った混乱は確認されていないものの、大手海運業者では上海港抜港による本船スケジュール変更・遅延や、上海港から鄭州港へ迂回する動きもみられています。
- また、別の大手海運業者では、今回の都市封鎖により、上海を出入りする陸上輸送の30%が影響を受けるとの見方を示しており、3月28日から4月1日まで倉庫の営業を停止するとしています。
- また航空貨物についても正常稼働しているものの、受入カウンターの開鎖やフライトキャンセルによる影響を受けています。
- トラック輸送においては、48時間以内の陰性証明が必要であることを受けて、上海を通る貨物の輸送を避ける動きが確認されています。州を越えて移動するトラック運転手は、州ごとの様々な規制と証明・消毒作業へ対応するため、移動・待機時間が長くなることが懸念されます。
- 混乱が世界最大の貿易国全体に急速に広がり、ウクライナ侵攻に伴い緊張している世界のサプライチェーンをさらに混乱させる可能性があるという懸念が高まっています。

上記情報につきましては、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。



【出展】

NNA ASIA.com <https://www.nna.jp/>

ONE china <https://ch.one-line.com/zh-hans>

MAERSK <https://www.maersk.com/local-information/asia-pacific/china>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対し弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックスバックナンバー